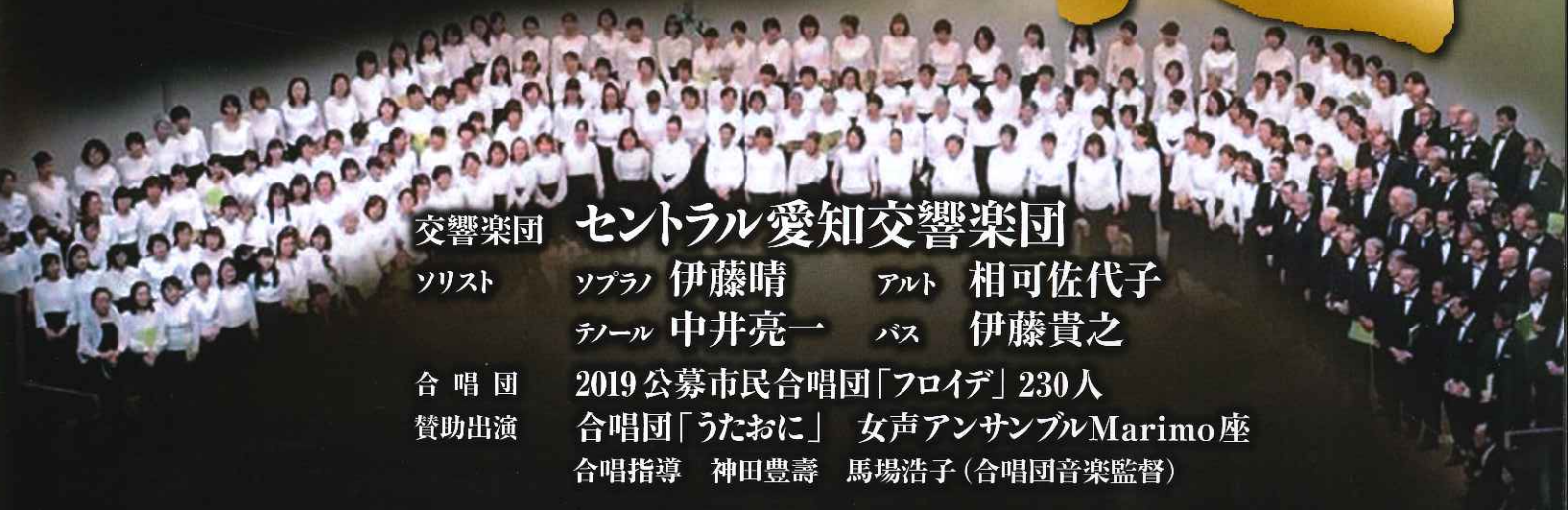


四日市の



指揮 **井村誠貴**

第九



交響楽団 **セントラル愛知交響楽団**

ソリスト
ソプラノ 伊藤晴 アルト 相可佐代子
テノール 中井亮一 バス 伊藤貴之

合唱団 **2019公募市民合唱団「フロイデ」230人**
賛助出演 合唱団「うたおに」 女声アンサンブルMarimo座
合唱指導 神田豊壽 馬場浩子(合唱団音楽監督)

第1部 「カヴァレリア・ルスティカーナ」P. マスカーニ ～オレンジの花は香り～
「ナブッコ」G.ヴェルディ ～行け、わが想いよ、黄金の翼に乗って～
「メリー・ウイドウ」F.レハール ～ワルツと大詰めの合唱女のしあわせは!～
ハンナ 伊藤晴 ダニロ 中井亮一
群青 小田美樹作曲 信長貴富編曲
大地讃頌「土の歌」より 佐藤眞作曲

第2部 交響曲第九番ニ短調 作品125 合唱付 ベートーヴェン作曲

●日時 **2019年12月22日(日)**
14時開演(開場13時)

●会場 **四日市市文化会館 第1ホール**

チケットの取り扱いは、四日市市文化会館にて7月20日より発売中

指定席A 3,000円(当日3,300円) 指定席B 2,500円(当日2800円)
一般自由席(2階) 2,000円(当日2,300円) 小～高校生 1,000円(当日1,200円)
未就学児4歳以上は入場可(有料) 3歳以下は親子室で鑑賞可(無料) 定員あり

ご遠方の方にはFAX 059-354-0731 か e-mail:kunikuni551@msn.com にて受付
お問い合わせ 四日市の第九実行委員会事務局 ☎080-4222-3566 西村

主催/四日市市・(一社)四日市市文化協会・四日市の第九実行委員会
後援/四日市市教育委員会・(公財)四日市市文化まちづくり財団・(株)シー・ティー・ワイ・中日新聞社



指揮 井村 誠貴

オペラ指揮者。2013年には年間オペラ公演回数が日本人第1位。ミュージカル「マイ・フェアレディ」「レ・ミゼラブル」等のロングラン公演を指揮。また岩崎宏美や夏川りみといった実力派シンガーとの共演も多い。その活動の幅は指揮活動だけにとどまらず、オペラ演出、作曲、作詞、編曲者としての活動も著しくマルチな才能を発揮。2014年には、自身の企画により「ベートーヴェン振るマラソン!」と題して、一日でベートーヴェンの全交響曲を一人で指揮。そのギネス級の活動は大きな話題となった。2011年東日本大震災を受け、毎年チャリティコンサートを開催。9回の演奏会で5136万円を超える義援金を届けた。クラシック音楽にとらわれない幅広いジャンル、年間100公演近くに及び実績と、繊細且つダイナミックな指揮は、多くのファンを魅了し続けている。

合唱団 2019公募市民合唱団「フロイデ」(230人)

2004年に、市民の方々から「もういちど第九を歌いたい」との声が上がり、有志が集まって実行委員会を結成。多くのご支援があって第1回目をその年の12月19日に開催した。それまでは1985年から断続的に催され5回ほど開催されたていた。2004年の開催もその年限りの予定だったが、多くの合唱団員の歌い続けたいという熱い想いが寄せられ今に続いている。毎年、合唱団員の募集と解散を繰り返す今日に至る。今年で連続16回目を数え、延べ3,500人が舞台上で第九を歌ってきた。今では、恒例となった年末の「四日市の第九」は、一流の指揮者、ソリスト、管弦楽団を招いて毎回、ホール満席の1,700人が客席を埋めている。2008年に市民合唱団「フロイデ」と命名。2018年には第15回開催記念としてソリスト4人を全国公募し好評をえました。また近年、中学生や高校生の合唱団員も何人か歌っています。現在、音楽監督に馬場浩子、合唱指導に神田豊壽、馬場浩子が担当。

賛助出演 合唱団「うたおに」

1974年4月創立。約30名のアマチュアメンバーで構成。第50回全日本合唱コンクール全国大会にて最高位にあたる文部大臣奨励賞を受賞。ホールコンサートの他、オーケストラ公演・オペラ公演への賛助出演、老人福祉施設や学校への訪問演奏など、ステージ数は年間40公演程をこなす。また海外においてもカナダ、中国、韓国での公演を開催。曲目は非常にバラエティに富んでおり、トークや演出も含めた気取らず温かい雰囲気ステージ構成は、幅広く好評を得ている。津市文化奨励賞、三重県平成文化特別賞、地域文化功労者文部大臣表彰、三重県文化賞文化大賞等受賞。毎年「四日市の第九」演奏会に賛助出演。

賛助出演 女声アンサンブルMarimo座

2010年結成。アンサンブル曲に積極的に取り組み、絶妙なハーモニーに定評がある。'16年ウィーン国立歌劇場、聖シュテファン大聖堂での海外演奏が地元音楽家にも絶賛される。本年8月にはイタリア、ヴァチカン市国より招聘され、サン・ピエトロ大聖堂等でのミサ、奉納演奏を行う。其々ソロ歌手としても活躍中。現在メンバーは14名。

第九ソリスト



ソプラノ 伊藤 晴 桑名市出身。三重大学卒業。武蔵野音楽大学大学院修了。ミラノ、パリで研鑽を積み、各地でコンサートに出演。藤原歌劇団には「ラ・ボエーム」のムゼッタでデビュー、「カルメン」ミカエラで好評を博し、2019年1月「ラトラヴィータ」ヴィオレッタで、その豊かな表現力を聴衆に印象づけた。本年6月には「愛の妙薬」(日生劇場)アディーナで、11月にはベルカント・フェスティバル・イン・ジャパン「貞節の勝利」に出演予定。日本オペラ協会には2018年「夕鶴」つう役で出演する等幅広い役で活躍中。ソリストとして小澤征爾指揮「第九」、パティステール指揮「カルミナ・ブルーナ」等に出演し、2019年「NHKニューイヤーオペラコンサート」に初出場。第9回藤沢オペラコンクール第2位。藤原歌劇団団員。名古屋音楽大学講師。



アルト 相可 佐代子 名古屋音楽大学声楽科卒業、同大学院修了。2001年パリ市立シャトレ劇場研修生として渡仏。同劇場においてお昼の歌曲リサイタル、パリ・アテネ劇場やミッテルベルクハイム音楽祭にも出演。2003年エコールノルマル音楽院よりベスティギ、ルーセル奨学金を受け研鑽。同音楽院高等演奏家ディプロムを審査員満場一致で取得。帰国後も「カルメン」「ナクス島のアリアドネ」など多数のオペラに出演。ベートーヴェン「交響曲第九番」「ミサ・ソレムニス」、マーラー「交響曲第三番」等ソリストも務める。日本各地での演奏活動をはじめ、京都市立芸術大学、名古屋音楽大学、愛知県立芸術大学各講師として後進の指導にもあたる。NHK-FM「名曲リサイタル」出演。2012年津市文化奨励賞。リサイタルにおいて2014年名古屋音楽ベンクラブ賞、2010年、2018年には名古屋市民芸術祭受賞。

名古屋芸術大学音楽学部声楽科首席卒業、同大学院修了。05年に渡伊、08年スカラ座音楽院オペラ研修所修了。

テノール 中井 亮一

この間スカラ座、フェニーチェ歌劇場、Rossini Opera Festivalなどイタリア各地で出演。帰国後は藤原歌劇団の主役級テノールとして「魔笛」「セビリアの理髪師」「愛の妙薬」「椿姫」「夕鶴」など多数のオペラに出演。また「メサイア」「第九」「カルミナ・ブルーナ」などの独唱、学校音楽鑑賞会及びアウトリーチ、病院や各種施設への訪問演奏など幅広く活動している。本年発売したデビュー CD「日本の心を歌う」はレコード芸術誌で準特選盤に選出された。一方で、一般男声合唱団の指導及び編曲、NHK全国学校音楽コンクール審査員(09~19年)など合唱分野でも活躍中。現在、桜美林大学声楽講師/名古屋二期会研修所講師/藤原歌劇団団員。



名古屋芸術大学卒業。同大学大学院修了。奨学金を得て渡伊しミラノで研鑽する。

バス 伊藤 貴之

第49回日伊声楽コンクール第2位や第6回Gゼッカ国際声楽コンクール第2位など入賞歴多数。愛知県芸術劇場「椿姫」でデビューしこれまで数多くのオペラに出演。また「第九」やヴェルディ「レクイエム」など宗教曲のソリストとしても活躍している。セイジオザワ松本フェスティバル「第九」ソリストに抜擢され小澤征爾指揮の下、ソリストを務める。近年では、新国立劇場、日生劇場、大阪国際フェスティバル、びわ湖ホールに出演しいずれも好評を博す。藤原歌劇団では「仮面舞踏会」でデビューし、続けて「ラ・ボエーム」「ランスへの旅」「ルチア」等にも出演した。「ノルマ」では世界的ソプラノ歌手のMデヴィア女史と共演。平成24年度愛知県芸術文化選奨「文化新人賞」を受賞。藤原歌劇団団員。



合唱指導



神田豊壽

馬場浩子

稽古ピアニスト



倉内久美

前川晶

交響楽団 セントラル愛知交響楽団

1983年ナゴヤシティ管弦楽団として発足。岩倉市の事業補助を受け1997年に現名称に改名の後、2009年4月一般社団法人となる。2019年4月から常任指揮者に角田鋼亮が就任。5年間にわたり音楽監督を務めたレオシュ・スワロフスキーを名誉音楽監督に、名誉指揮者小松長生、特別客演指揮者松尾葉子、首席客演指揮者齊藤一郎、正指揮者古谷誠一という布陣で新たなスタートを切る。定期演奏会、コンチェルトシリーズ、「第九」演奏会等の自主公演の他、バレエ、オペラ、ミュージカル等の依頼公演にも数多く出演。2015年半田市と音楽文化振興の協定を締結し、2016年度よりさまざまな事業を展開。2019年一般財団法人稲沢市文化振興財団とも協定を締結。海外では2007年中国内蒙古自治区、2009年タイ・バンコク(文化庁国際交流支援事業)、2017年韓国・釜山(釜山マル国際音楽祭)で公演し成功を収める。1996年「平成7年度愛知県芸術文化選奨文化賞」、2005年「平成16年度名古屋市民芸術奨励賞」、2007年「第2回名古屋音楽ベンクラブ賞」受賞。

